

第12回 さいたま子ども短歌賞

応募期間 | 令和6年7月11日(木)～令和6年9月3日(火)まで

さいたま2024

五五七
七七七

作歌することに
意味がある

主協後

催賛援

さいたま市教育委員会
埼玉県歌人会 埼玉県芸術文化祭実行委員会
埼玉県 埼玉県教育委員会 埼玉新聞社

インターネットからも応募できます▶



第12回さいたま子ども短歌賞 応募要項

短歌を通して児童生徒の豊かな感受性と国語力をはぐくみ

伝統的な言語文化の継承を図るために

さいたま子ども短歌賞を実施し作品を募集します

短歌作品を応募票に記入してお送りください

★ 対象

全国の小・中学生

★ 応募期間

令和6年7月11日(木)から

令和6年9月3日(火)まで

★ 応募のきまり

- 所定の応募票を使用してください。
※ 応募票のコピーや、市ホームページからダウンロードしたものの使用は可とします。
- 1人3首まで応募できますが、入賞は1人1首とします。
- 応募作品は未発表の自作短歌に限ります。ただし、学校の授業で創作した作品は可とします。
- 他の短歌コンクールとの二重投稿や、既に発表されている短歌・歌詞等に著しく類似したものは、選考の対象になりません。
- 応募のきまりに反する場合は、入賞を取り消すことがあります。

★ 選考委員

沖 ななも (歌人)

佐伯 裕子 (歌人)

外塚 喬 (歌人)

★ 賞

優秀賞 20首

賞状、図書カード (3,000円分)、
作品集を贈呈します。

入選 80首

賞状、作品集を贈呈します。

★ 発表

入賞者は、委員による選考後 11月下旬頃に決定します。

入賞者本人へ学校を通じてお知らせするとともに、在籍校の学校長宛てに通知することで発表とします。

★ 表彰式

表彰式を次のとおり開催します。

期日 令和7年1月19日(日)

会場 さいたま市青少年宇宙科学館
青少年ホール

★ 作品集

入賞作品 100首を掲載した作品集を作成します。

作品集には、作品とともに作者名、学校名、学年を掲載します。

★ 作品の取扱い

- 応募作品の著作権は、さいたま市に帰属します。
- 応募作品の原稿(応募票)は返却しません。
- 入賞作品は、さいたま市ホームページ、本市刊行物等で作者名、学校名、学年と併せて掲載します。
- 応募に際して取得した個人情報は、さいたま市教育委員会が実施する短歌に係る3つの事業以外の目的では利用しません。

*「夢と言葉をつむぐ短歌 未来へのかけはし事業
～Saitama "Tanka" Promotion Project(STPP)～」
さいたま子ども短歌賞、さいたま短歌フォーラム、現代短歌新人賞(詳細は市ホームページをご覧ください。)

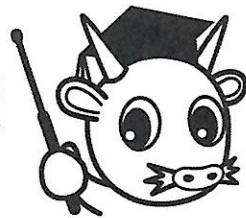
☀ 応募先・お問合せ先

さいたま市教育委員会生涯学習振興課
〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4

電話 048-829-1705 FAX 048-829-1989
E-mail shogai-gakushu-shinko@city.saitama.lg.jp

さいたま市教育委員会「『自分発見!』チャレンジupさいたま」スタンプ事業です。

3つのステップで短歌を詠んでみよう！



短歌ってどんなもの？

心こころを動うごかされる景色けしきや出来事できごとなどを、五・七・五・七・七ご しち ご しち しちの三十一文字さんじゅういちもじで言い表いした詩しです。

【例：声こゑに出だして読よんでみよう】

「寒いね」と 話しかければ 「寒いね」と 答える人の いるあたたかさ (俵 万智)

5文字 7文字 5文字 7文字 7文字

STEP 1 テーマを決めよう

どんなことを短歌にしたいか考えてみよう。

自分の好きなことや、楽しかったこと、感動したことなど、自由に選んでみてね。

テーマの例

- | | | | |
|--------------------|-----------------------|-------------------|---------------------|
| がっこう
・学校でのできごと | かぞく ともだち
・家族、友達 | す
・好きなスポーツ | どうぶつしょくぶつ
・動物、植物 |
| い ばしょ
・行ってみたい場所 | なつやす おも だ
・夏休みの思い出 | しょうらい ゆめ
・将来の夢 | けしき ふうけい
・景色、風景 |

STEP 2 つながりのある言葉を書き出そう

決めたテーマから思いつく言葉を、たくさん書いてみよう。

このときは、文字の数は気にしないで、頭にうかんだ言葉をたくさん書こう。

STEP 3 五・七・五・七・七のリズムにあわせよう

STEP2で集めた言葉を組み合わせて、「五・七・五・七・七」に当てはめてみよう。

でき上がったら、声に出して読んでみるといいよ。

※字余り（文字数が多いこと）・字足らず（文字数が少ないこと）でも大丈夫！

伝えたいことが表現できるように、いろいろな言葉を試してみてね。

上級者のあなたへ いろいろな表現のしかたにチャレンジしてみよう！

- ① 比喩（たとえる）
例：「雪」の比喩⇒「白い綿のような雪」
- ② 体言止め（最後が名詞で終わる）
例：「空が青い」の体言止め⇒「青い空」
- ③ 対句（同じ構成の語を並べる）
例：おじいさんは山へ芝刈りに、おばあさんは川へ洗濯に
- ④ 擬音語・擬態語（音や様子を表す）
例：わくわく、どんより、ガタン、もりもり
- ⑤ 漢字とひらがなの使い分け（あえてひらがなを使うと、やわらかい印象になるよ）